■市民まちづくり会議・むさしの　令和４年度第６回定例会議事録

日時：2023 年４月６日（木）19 時～21 時
場所：吉祥寺商工会館 3F　消費生活センター講座室、リモート併用
出席：会場参加　内山、河田、篠原、竹山、山田、笹隈、中島、村井、南　（順不同）
　　リモート参加　原、内門　（順不同）
　　※議長：山田、　リモート：篠原、　記録：南

1．三鷹北口駅前広場の交通計画について（内山）

・市では三鷹駅北口駅前広場について、今後の補助幹線街路の整備完了に合わせて、平成 29 年に策定された「三鷹駅北口まちづくりビジョン」を踏まえた再整計画を検討している。

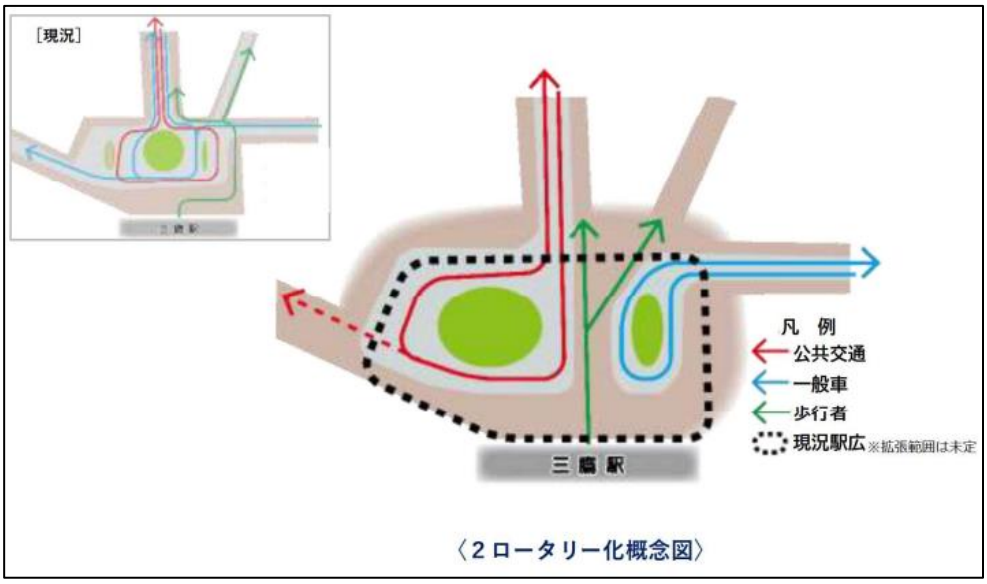
・本年 2 月に三鷹駅北口整備に関する研究会資料が取りまとめられ、そこにおいては用地買収による広場の拡大や、現在ロータリー中央にある交通島も改修して歩行路と二つのロータリーに改変する提案、かたらいの道を歩行者専用道路化する案などが検討されている。

→駅前広場の通過交通を排除し、横川電機への朝夕の通勤も含めて、歩行者交通量が最も多いかたらいの道方向への安全な歩行動線が確保できる点は評価に値する。

資料）三鷹駅北口まちづくりビジョン、2017

→ただし、西側をバス用ロータリー、東側をタクシー用ロータリーとした場合、中道新道を通行する唯一のバス路線であるムーバス三鷹・吉祥寺循環のバス停や運行路線をどう処理するのか、西側に向かうタクシーはすべて補助幹線を大迂回させるのかと言った問題が出てくる。

→この案によって、最終的には中央大通りよりも補助幹線の車両通行量が多くなることが想定されるが、その交通量予測や弊害への対応は十分検討されているのか、と言った点も問題となると考えられる。



資料）三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた研究会報告書（案）、2023.2

→また、現在もあまり有効利用されていない、桜通りについても一般車両の送迎待ちやキスアンドライド用エリアとしての

活用を、駅前広場計画と一体的に検討する必要がある。

２．吉祥寺中心エリアにおける駐車場ルールの再検討（内山）

- 令和４年に都の駐車場条例が改正され、地域の実情に応じた駐車施設附置義務の基準設定が可能となった。
- 買い物交通の減少が進み、付置義務を課されている大型商業施設駐車場も余剰が生じる傾向にあるため、市では、吉祥寺セントラルエリアに関して駐車場付置義務の緩和ルールづくりを検討している。

→中心市街地エリアに入り込む買い物交通の減少に伴う道路交通量が減少は、吉祥寺大通りや公園通りを横断する歩行者の信号待ち時間の減少にも結び付き（信号時間を操作）、“歩いて楽しいまち”の実現にも結び付くことにもなる。

→一方で、商業店舗用荷捌き（搬入）車両による路上駐車をなくすための駐車場確保は重要であり、現在の吉祥寺方式荷捌き車両対策をさらに強化し、共用荷捌き駐車場については増設を進める必要がある。

→武蔵境の、むさしのプレイス地下駐車場（29 台収容）もほとんど使用されておらず、無駄な空間となっている。

3．外環その２（原、村井）

- これまで 48 回の作業部会が開催されたが、12 月 22 日から３月 22 日の間に 44 回から５回の部会が Zoom で実施された。
- 報告書は 200～300 頁になる予定であり、概要版の作成も必要となる。
- 都の人事異動があり、担当者が変わったため、報告書の文章を承諾なく修正すると言った問題も生じた。また、事務作業を担う新たなコンサルタントはまだ決まっていない。
- この間、3 つのコミセンで連続学習会が開催され、市外の人も含めて各回約 30 人ほどの参加者があり、市からも副部長等複数名が参加した。

４．独歩の森（田中さんより資料提供）

- 森の会だより（21 号、22 号）が配布され、12 月と 1 月に実施された種まきや育苗、清掃活動等の活動実績等を確認した。

5.次回定例会及び総会について

- 次回の、今年度最後の第７回定例会は、5月 11 日（木）19：00～から、吉祥寺商工会館 3F 消費生活センター講座室で行う予定。リモート参加も可能とする。
- 令和４年度の総会は、6 月 17 日（土）10：00～12：00 に同じく吉祥寺商工会館 3F 消費生活センター講座室で行う予定（会場確保を認中）。

以上